



津山の人・物・技術
など、明日誰かに自慢
したくなる津山のいい
ところを紹介します

32
つやまじまん

ええとこ
いっぱい

津山 自慢

岡山県美作高校サッカー一部監督

三好 達也さん（東一宮）

大阪市出身の34歳。小学2年生からサッカーを始め、中学・高校とサッカー部に所属。けがが原因で選手としてのプレーが難しくなり、指導の道へ進む。令和5年3月まで当時の作陽高校サッカー一部でコーチを務め、4月から美作高校サッカー一部監督に就任。

サッカーに関わり続けたい

高校3年生の時に腰椎を負傷し、選手としてプレーはできないと言われました。しかし、サッカーのない生活が考えられず、スポーツ系の大学に進学しました。

大学1年生の時、ヨーロッパの強豪チーム「FCバルセロナ」の本拠地、スペイン・バルセロナに行く機会がありました。試合を見たり、街で過ごしたりして感じたのは、街の人たちにとつて、チームを応援することが生活の一部になっているということ。こんな環境でサッカーに関わる仕事が出来たという夢ができ、大学サッカー部や幼稚園の子どもたちの指導に深く関わるようになりました。

卒業後は海外で働くことも考えていた中、作陽高校で働いていた先輩からコーチを探していると声を掛けられました。まず自分がどこまでできるか確かめたいと思い、作陽高校に就職しました。

生徒自身のやる気を大切に

わたしがサッカーの指導をする中で大切にしているのは、生徒たちのやる気を引き出すことです。特に美作高校では、寮生が多い作陽高校より部活動で練習できる時間が少ないため、部活動以外も練

習や体づくりに自分から取り組みたくなるような声掛けや仕組みを考えています。

言われてすることより、自分で目標を立てたことの方が頑張れる。美作高校サッカー部では、生徒自ら「美作総体優勝」「県総体ベスト4」という目標を立てました。

わたしの役割は、その目標のために何をしたら良いかを伝えることです。伝えたことを生徒たちが信じて取り組んでくれた結果、美作総体で初優勝することができました。県総体でも初めて4回戦まで進み、惜しくも敗れましたが、良い内容の試合ができ、次の大会に向け練習にも熱が入っています。

地域から応援されるチームに

作陽高校の移転が決まった時、津山でサッカーをしたい子どもたちの受け皿になりたいという気持ちで強く、美作高校での勤務を決めました。子どもたちがスポーツに打ち込む姿は、「日常にスポーツがある、健康で元気な津山」につながると信じています。

美作高校のサッカー部に入りたい、対戦したい、応援したいと思われような、地域の看板になるチームを目指します。生徒たちの活動をぜひ見守ってください。



小麦の収穫風景を取材しました。天気予報がころころ変わりに心配でしたが、当日はきれいな青空が広がりました。麦と空、コンバインをいろいろな方向から撮ろうと、田んぼの中を全力疾走。風が心地よいと感じながらも、すぐ息が上がってしまいました。元気に走り回っていた子どもの頃が懐かしい…。(笑)

先日、クローゼットを整理していたら、5年前に買った浴衣が出てきました。糸菊が描かれた白色の浴衣。最近を着る機会が無くて仕舞い込んでいたが、久しぶりにこれを着て、花火大会や夏祭りなどに繰り出してみたくまりました。今年の夏のイベントは4ページで紹介しています。ご覧ください。(笑)

暑さに耐えかね、かき氷機を購入しました。氷は薄く削れ、粉雪のような口どけに感動。家で作るかき氷は、ガリガリしたイメージしかなかったので、かき氷機の進化を感じました。あんこや白玉など、トッピングの充実がこれからの楽しみです。新しいかき氷機とともに暑い夏を乗り切ろうと思います。(笑)

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsuayama.jp

広報津山は、環境保護のため再生紙・植物性インクを使用しています。読者のみなさまは、この紙を大切にしてください。

広報津山
電子版



津山市公式
フェイス
ブック



津山市公式
LINE



津山市公式
インスタ
グラム

